

議案第 81 号  
令和 2 年度宝塚市一般会計補正予算(第 6 号)

資料 1 (70・71) 市立図書館における備品購入について

1 概要

(1) カート収納式図書返却ポスト(中央図書館)

新型コロナウイルス感染症予防対策の一環として、図書館に行かずとも自宅付近で図書を返却する場所(既設 11 カ所)を、JR 中山寺駅前に設置するための図書返却ポストを購入します。図書館の本を在宅で楽しむ新しい生活様式に対応するために設置するものです。

(2) 来館者カウンター(中央図書館・西図書館)

新型コロナウイルス感染症対応の一つの施策として、図書館に来館している方の人数を把握するために設置します。来館している方が多く、密になった場合、ホームページやツイッターで来館を控えていただくよう告知するなど、市民の安全確保に努めます。

2 予算

(1) 中央図書館

カート収納式図書返却ポスト	@236,000 円*1.10=259,600 円	260 千円
来館者カウンター	@280,000 円*1.10=308,000 円	308 千円
合計		568 千円

(2) 西図書館

来館者カウンター	@280,000 円*1.10=308,000 円	308 千円
----------	---------------------------	--------

## カート収納式返却ポスト



中央図書館、西図書館、中山台分室、山本南分室及び移動図書館車すみれ号など、本の貸出や返却をする拠点施設と別に本を返却することが出来るポイントが、現在、各サービスステーションやコープ逆瀬川など、市内 11 か所に設置されている。今回、JR 中山寺駅前にブックポストを設置し、返却ポイントの充実を図る。(返却ポイントのうち、宝塚駅前サービスステーションなど市職員が常駐するカウンターは窓口で返却するが、コープ逆瀬川、市役所グランドフロアなどはブックポストに返却する方式で、JR 中山寺駅前は後者。)

返却場所が身近にあることで本を借りやすくし、市民が在宅生活で本を楽しむ新しい生活様式を支援するとともに、あらかじめブックポストで本を返却したのち、図書館に来館することで図書館内の滞在時間を短くし、密集を避けることにつながる。

## 来館者カウンター



1台の筐体の中にセンサー、コントローラをすべて収納しております。大がかりな工事が不要で、後付けの設置に最適なカウンターです。

任意で設定したエリアを通過する人を独自のアルゴリズムで判断、通過数を極めて高い精度でデータとして記録。コンパクト、高性能な人数カウンターです。

図書館入り口に「来館者カウンター」を設置。接続したパソコンに、当日の入場者数と退場者数及び在館者が表示される。その人数をHP、ツイッターなどで告知。利用者が、自分で三密を避けて来館することが可能。

毎日の履歴が保存されるので、1年間など期間を区切った統計処理、分析が可能。

曜日ごと、時間帯ごと、天候との関連などを分析し、利用者におすすめの時間帯などをアナウンスして密集を防ぐ、等に活用する。



ソフトを立ち上げてからのリアルタイム表示